

## HSBC ブラジル債券 オープン(1年決算型)

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年9月30日～2023年9月15日	
運用方針	ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国（「ブラジル」）の債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ブラジル債券オープン(1年決算型)	ブラジル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル債券マザーファンド	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	HSBC ブラジル債券オープン(1年決算型)	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ブラジル債券マザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限るものとし、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年1回の決算時（毎年9月18日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

### 償還運用報告書（全体版）

第15期（償還日 2023年9月15日）

#### ◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ブラジル債券オープン（1年決算型）」は、2023年9月15日に満期償還を迎えました。

ここに運用経過と償還内容をご報告いたしますとともに、これまでのご愛顧に対し厚くお礼申し上げます。

#### HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

〈お問い合わせ先（投信営業本部）〉

電話番号：03-3548-5690

（営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税分	騰落率			
	円 銭	円	%	%	%	百万円
11期(2019年9月18日)	11,355	200	17.2	100.1	—	229
12期(2020年9月18日)	8,954	200	△19.4	100.7	—	159
13期(2021年9月21日)	8,443	200	△ 3.5	100.7	—	169
14期(2022年9月20日)	11,813	200	42.3	100.0	—	132
(償還時)	(償還価額)					
15期(2023年9月15日)	14,396.93	—	21.9	—	—	97

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰落率	騰落率			
(期首)	円 銭	%	%	%	%	%
2022年9月20日	11,813	—	100.0	—	—	—
9月末	11,463	△ 3.0	97.3	—	—	—
10月末	12,072	2.2	97.1	—	—	—
11月末	11,186	△ 5.3	97.2	—	—	—
12月末	10,864	△ 8.0	96.8	—	—	—
2023年1月末	11,071	△ 6.3	99.3	—	—	—
2月末	11,498	△ 2.7	99.5	—	—	—
3月末	11,736	△ 0.7	97.8	—	—	—
4月末	12,201	3.3	97.9	—	—	—
5月末	12,869	8.9	97.1	—	—	—
6月末	14,113	19.5	97.1	—	—	—
7月末	14,200	20.2	99.8	—	—	—
8月末	14,371	21.7	99.1	—	—	—
(償還時)	(償還価額)					
2023年9月15日	14,396.93	21.9	—	—	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○投資環境と運用状況

### 設定以来の基準価額等の推移について（設定日2008年9月30日～償還日2023年9月15日）



\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。

### 基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時14,396円93銭となりました。設定来お支払いした分配金は1万口当たり3,400円となりました。「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。組入銘柄の利子収入および価格上昇（利回り低下）が基準価額にプラスに寄与しました。一方、ブラジルレアルが対円で値を下げたことが、基準価額にマイナス寄与となりました。詳しくは「投資環境について」をご参照ください。

### 投資環境について

#### 【債券市況】

ブラジル債券市場は設定後から2008年10月下旬にかけて世界的な景気減速に伴う資源需要の低下とブラジルの経常赤字拡大への懸念などから下落（利回りは上昇）したのち、インフレ率の低下と景気下支えに向けた断続的な利下げなどを背景に2009年5月下旬にかけて途中上下に振れながらも上昇（利回りは低下）基調となりました。その後、債券市場は2011年6月下旬にかけて景気過熱によるインフレ加速と利上げサイクルから途中上下動を見せながらも下落（利回りは上昇）基調となったものの、インフレの落ち着きによる利下げ開始などに伴い2012年10月中旬にかけて上昇（利回りは低下）基調となりました。2015年12月下旬にかけては弱い景気回復力、インフレ率の上昇、断続的な利上げなどを背景に途中上下に振れながらも下落（利回りは上昇）基調となったのち、景気刺激策としての金融緩和などから2020年7月末にかけては上昇（利回りは低下）基調となりました。その後、インフレの再加速、利上げサイクルなどにより2022年11月下旬にかけては途中上下動を見せながらも下落（利回りは上昇）基調となったものの、満期償還日にかけてはインフレ率の低下傾向と利下げ開始などを背景に上昇（利回りは低下）基調となりました。

## 【為替相場】

ブラジルレアルは円に対して設定後から2008年12月上旬にかけて経常赤字拡大への懸念などから途中上下に振れながらも下落基調となりました。その後、2013年5月中旬にかけて一定範囲内で推移したのち、インフレ加速などを背景に2016年2月中旬にかけて途中上下動を見せながらも下落基調となりました。2017年2月中旬にかけては財政再建への積極的な取り組みやインフレ率の低下に伴いブラジルレアルの対円相場は値を戻す動きとなったのち、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴うリスク回避志向の高まり、インフレの再加速などにより2020年10月下旬にかけて下落基調となりました。満期償還日にかけてはインフレの落ち着き、米国の金融引き締め長期化観測に伴う日米金利差の拡大による米ドル高・円安進行などから途中上下に振れながらも上昇基調となりました。

## ポートフォリオについて

### <HSBC ブラジル債券オープン（1年決算型）>

「ブラジル債券マザーファンド」への投資を通じて、主にブラジルの債券等に投資しました。

### <ブラジル債券マザーファンド>

相対的に利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指しました。債券ポートフォリオでは、設定（設定日：2008年9月30日）以降、中期債の組入比率を高め維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## 金融取引税について

当ファンドにはブラジル政府による金融取引税（IOF）の課税対象となる取引が含まれています。ここでいう金融取引税は日本を含む海外の投資家がブラジル国内のブラジルレアル建債券を購入するために、外貨（日本円、米ドル等）からブラジルレアルに交換する際の「為替取引」に対して課される税金のことです。

ただし、債券を購入するための為替取引に対しては当期末現在の課税は0%です。一方、債券の売買、ブラジルレアルから外貨（日本円、米ドル等）への為替取引は一部例外を除き課税されません。

当ファンドを保有される期間中、金融取引税が課税される場合は、受益者の皆さま個人に直接的に課税されるのではなく、投資信託の信託財産に課税されるため、間接的にご負担いただきます。信託財産が増加する場合（投資信託の購入金額の総額が換金金額の総額を上回った場合）、信託財産の増加分をもって、原則、新たにブラジルレアル建ての債券を購入いたします。その際のが為替取引に課税されます。信託財産が減少する場合（投資信託の換金金額の総額が購入金額の総額を上回った場合）は新たに債券を購入しないので、一部例外を除き課税されません。そのため、通常受益者の皆さまの実質的な金融取引税の負担額は、金融取引税（IOF）の課税率とは異なります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年9月21日～2023年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 207	% 1.682	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(107)	(0.868)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（ 販 売 会 社 ）	( 93)	(0.759)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 7)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	42	0.339	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 17)	(0.141)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（ 監 査 費 用 ）	( 8)	(0.066)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（ そ の 他 ）	( 17)	(0.132)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出にかかる費用等
合 計	249	2.021	
期中の平均基準価額は、12,303円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

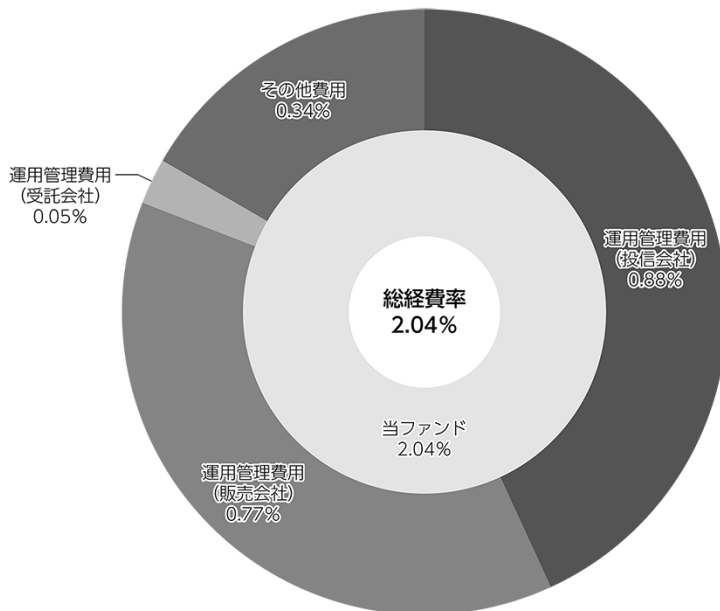
(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.04%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年9月21日～2023年9月15日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ブラジル債券マザーファンド	千口 7,585	千円 16,218	千口 72,595	千円 174,654

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年9月21日～2023年9月15日)

### 利害関係人との取引状況

#### <HSBC ブラジル債券オープン（1年決算型）>

該当事項はございません。

#### <ブラジル債券マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替直物取引	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 5,995	百万円 26	% 0.4

平均保有割合 1.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

## ○組入資産の明細

(2023年9月15日現在)

2023年9月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

### 親投資信託残高

銘柄	柄	期首(前期末)	
		口数	千口
ブラジル債券マザーファンド			65,010

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年9月15日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 98,063	% 100.0
投資信託財産総額	98,063	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2023年9月15日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	98,063,915
未収入金	98,063,915
(B) 負債	1,016,669
未払解約金	23,885
未払信託報酬	888,605
その他未払費用	104,179
(C) 純資産総額(A-B)	97,047,246
元本	67,408,314
償還差益金	29,638,932
(D) 受益権総口数	67,408,314口
1万口当たり償還価額(C/D)	14,396円93銭

(注) 当ファンドの期首元本額は111,949,788円、期中追加設定元本額は13,473,381円、期中一部解約元本額は58,014,855円です。

(注) また、1口当たり純資産額は1.439693円です。

## ○損益の状況 (2022年9月21日～2023年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	19,158,118
売買益	24,427,556
売買損	△ 5,269,438
(B) 信託報酬等	△ 2,159,078
(C) 当期損益金(A+B)	16,999,040
(D) 前期繰越損益金	9,816,302
(E) 追加信託差損益金	2,823,590
(配当等相当額)	( 46,464,361)
(売買損益相当額)	(△43,640,771)
償還差益金(C+D+E)	29,638,932

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するため要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、288,587円です。



## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2008年9月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年9月15日		資産総額	98,063,915円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,016,669円
受益権口数	61,162,833口	67,408,314口	6,245,481口	純資産総額	97,047,246円
元本額	61,162,833円	67,408,314円	6,245,481円	受益権口数	67,408,314口
				1万円当たり償還金	14,396円93銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第5期	390,774,052円	420,433,805円	10,759円	200円	2%
第6期	180,461,167	218,197,213	12,091	200	2
第7期	219,226,541	174,922,432	7,979	200	2
第8期	254,751,241	248,001,664	9,735	200	2
第9期	210,728,514	270,888,702	12,855	200	2
第10期	195,819,950	193,045,873	9,858	200	2
第11期	201,941,951	229,302,868	11,355	200	2
第12期	178,291,435	159,641,430	8,954	200	2
第13期	200,702,164	169,445,464	8,443	200	2
第14期	111,949,788	132,246,705	11,813	200	2

## ○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	14,396円93銭
----------------	------------

（個人の受益者に対する課税）

※償還金が個別元本を上回る場合、上回る部分に20.315%（所得税15.315%、地方税5%）の源泉分離課税がかかります。

税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

税金の取扱いの詳細等については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

## ○お知らせ

当ファンドは、2023年9月15日をもって信託期間を終了し、満期償還いたしました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

◆親投資信託「ブラジル債券マザーファンド」の運用状況  
第14期（2021年9月22日～2022年9月20日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にブラジルの債券等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主にブラジルの政府、政府機関もしくは企業等が発行する現地通貨建債券に投資します。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限り、株式への投資は信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰	落中率			
10期(2018年9月18日)	円 15,044		% △20.2	% 96.4	% —	百万円 27,009
11期(2019年9月18日)	17,951		19.3	97.4	—	24,320
12期(2020年9月18日)	14,759		△17.8	97.6	—	16,404
13期(2021年9月21日)	14,500		△1.8	97.5	—	12,685
14期(2022年9月20日)	20,885		44.0	97.4	—	12,670

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

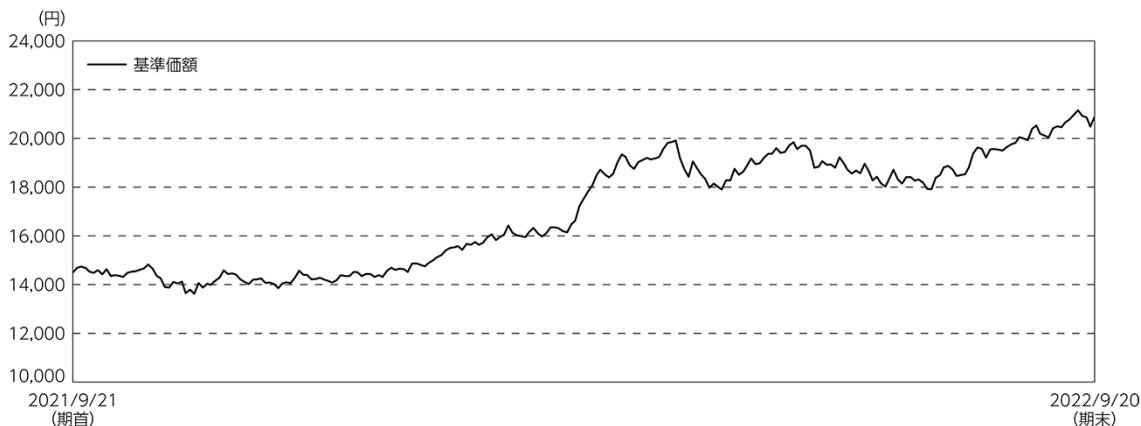
年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰	落						
	(期 首)		円		%			%			%
	2021年	9月21日	14,500		—			97.5			—
	9月	末	14,591		0.6			98.0			—
	10月	末	13,651	△	5.9			97.1			—
	11月	末	14,092	△	2.8			96.5			—
	12月	末	14,348	△	1.0			96.0			—
	2022年	1月末	15,214		4.9			99.0			—
	2月	末	16,020		10.5			98.3			—
	3月	末	18,402		26.9			98.0			—
	4月	末	19,054		31.4			97.3			—
	5月	末	19,367		33.6			96.7			—
	6月	末	18,963		30.8			96.1			—
	7月	末	18,868		30.1			98.8			—
	8月	末	20,188		39.2			97.6			—
	(期 末)										
	2022年	9月20日	20,885		44.0			97.4			—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期の運用状況と今後の運用方針

### 基準価額等の推移について（第14期：2021年9月22日～2022年9月20日）



### 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

組入銘柄の利子収入が基準価額にプラスに寄与しました。また、ブラジルレアルが対円で大幅に上昇したことが、プラスに働きました。

#### <下落要因>

組入銘柄の価格下落（利回り上昇）が基準価額にマイナスに寄与しました。

### 投資環境について

#### **【債券市況】**

当期のブラジル債券市場は前期末比で下落（利回りは上昇）しました。債券市場は、期初から2021年10月中旬までは方向感に欠ける動きとなったのち、インフレ率の上昇が加速したことなどから11月初旬にかけて急速に下落（利回りは急上昇）しました。その後、中央銀行が利上げを通じてインフレ抑制に向けて強い姿勢を示したことが市場で好感され、11月下旬から12月下旬にかけて債券市場は上昇（利回りは低下）傾向となりました。債券市場は、2022年2月下旬まで一定範囲内で推移したのち、高水準にあるインフレ率などから3月中旬にかけて下落（利回りは上昇）傾向となりました。その後、4月初旬にかけて債券市場は上昇（利回りは低下）したものの、7月下旬にかけて下落（利回りは上昇）基調となりました。高インフレ、中央銀行による物価重視の姿勢、世界的な成長鈍化懸念などが下落要因となりました。債券市場は、インフレ高進への懸念が和らいだことなどから8月中旬にかけて上昇（利回りは低下）したものの、期末にかけて方向感に欠ける動きとなりました。

## **【為替相場】**

当期のブラジルレアルは円に対して前期末比で大幅に上昇しました。ブラジルレアルは対円で、期初から2022年1月下旬まで方向感に欠ける動きとなったのち、4月中旬にかけて上昇傾向となりました。中央銀行による積極的な利上げ、日米金利差の急拡大などに伴う急速な米ドル高・円安進行の流れを受けたことなどが上昇要因となりました。その後、ブラジルレアルは対円で、7月下旬にかけて一定範囲内で推移したのち、インフレ高進への懸念が和らいだことなどから期末にかけて上昇傾向に転じました。

## **ポートフォリオについて**

残存期間1～5年を中心としたブラジル国債に投資しました。債券種類別には、割引国債の組入比率を21～32%程度、固定利付債は66～78%程度としました。また、キャッシュ比率は0.1～1.3%程度に維持しました。

## **今後の運用方針**

ブラジルでは、ガソリン価格に課している商品流通サービス税（ICMS）の税率引き下げがサンパウロ州で実施されています。こうした措置はインフレ沈静化につながると思われ、債券市場にとりプラス材料になると考えられます。

ブラジル債券市場は中長期的に有望な投資対象との当社の見方に変わりはありません。相対的に高い債券利回り、割安な水準にあるブラジルレアルは魅力的であると考えます。

相対的に利回りが高水準にあるブラジル国債への投資を通じて安定的な投資収益の確保を目指します。債券ポートフォリオでは、引き続き中期債の組入比率を高め維持しています。

## ○1万口当たりの費用明細

(2021年9月22日～2022年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 27	% 0.160	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(27)	(0.160)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	27	0.160	
期中の平均基準価額は、16,896円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年9月22日～2022年9月20日)

### 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 123,853	千ブラジルリアル 274,073

(注) 金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年9月22日～2022年9月20日)

### 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 5,380	百万円 —	% —	百万円 10,064	百万円 390	% 3.9

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

## ○組入資産の明細

(2022年9月20日現在)

### 外国公社債

#### (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	484,500	445,536	12,344,624	97.4	97.4	21.1	35.0	41.3
合 計	484,500	445,536	12,344,624	97.4	97.4	21.1	35.0	41.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(注) BB格以下組入比率は、S&Pグローバル・レーティングの格付に基づいております。なお、BB格とはBB+、BB、BB-を指します。

#### (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		債 務 年 月 日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
ブラジル	%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円			
国債証券	LTN 01/01/2024	—	78,470	66,979	1,855,812	2024/1/1	
	LTN 07/01/2023	—	75,300	68,119	1,887,403	2023/7/1	
	LTN 07/01/2024	—	20,000	16,228	449,651	2024/7/1	
	NTN-F 10% 01/01/2023	10.0	38,080	37,657	1,043,384	2023/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2025	10.0	134,300	128,892	3,571,274	2025/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2027	10.0	33,200	31,274	866,538	2027/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2029	10.0	83,100	76,498	2,119,565	2029/1/1	
	NTN-F 10% 01/01/2031	10.0	16,900	15,260	422,827	2031/1/1	
NTN-F 10% 01/01/2033	10.0	5,150	4,625	128,165	2033/1/1		
合 計					12,344,624		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価額については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

## ○投資信託財産の構成

(2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	12,344,624	96.5
コール・ローン等、その他	445,499	3.5
投資信託財産総額	12,790,123	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産(12,681,501千円)の投資信託財産総額(12,790,123千円)に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=143.28円、1ブラジルレアル=27.7073円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	12,871,480,048	
コール・ローン等	191,114,851	
公社債(評価額)	12,344,624,475	
未収入金	136,226,733	
未収利息	183,600,130	
前払費用	15,913,859	
(B) 負債	200,855,144	
未払金	81,367,136	
未払解約金	119,487,711	
未払利息	297	
(C) 純資産総額(A-B)	12,670,624,904	
元本	6,066,942,522	
次期繰越損益金	6,603,682,382	
(D) 受益権総口数	6,066,942,522口	
1万口当たり基準価額(C/D)	20,885円	

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

### 《注記事項》

※期首元本額	8,748,843,965円
期中追加設定元本額	295,475,556円
期中一部解約元本額	2,977,376,999円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額	
HSBC ブラジル債券オープン(毎月決算型)	6,001,932,126円
HSBC ブラジル債券オープン(1年決算型)	65,010,396円

## ○損益の状況 (2021年9月22日～2022年9月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	1,426,610,558	
受取利息	1,426,641,930	
支払利息	△ 31,372	
(B) 有価証券売買損益	3,196,525,565	
売買益	3,813,604,363	
売買損	△ 617,078,798	
(C) 保管費用等	△ 20,230,410	
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,602,905,713	
(E) 前期繰越損益金	3,936,820,020	
(F) 追加信託差損益金	188,198,655	
(G) 解約差損益金	△2,124,242,006	
(H) 計(D+E+F+G)	6,603,682,382	
次期繰越損益金(H)	6,603,682,382	

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

### 商号変更について

HSBC投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「HSBCアセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。